

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1017	事務事業名	企業誘致事業	細事務事業名		公的関与	2						
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	19年度～24年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	4 工業の振興		主要施策	(3)企業誘致の推進				
	事業の対象	東温市に工場等の立地を進める事業者				根拠法令	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律・東温市企業立地促進条例						
	事業の目的	最終的	市内への企業の立地件数を増やし、市の経済活動の活性化を図ります。			今年度	民間事業者が開発した工業団地への企業立地を推進します。						
	活動内容	市外事業者の本市への企業立地意向調査											
		市外事業者の本市への企業立地の勧誘											
		市内事業者の本市内での工場等の増設又は移設の勧誘											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		企業立地件数		工場等が操業を開始した時点			件	目標	-	5	3		
実績								1	4				
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成	20年度決算	平成	21年度決算	平成	22年度予算	備考				
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円	平成21年度より、愛媛県地域産業活性化協議会主催による東京での企業誘致フェアに参画しており、平成22年度においても参画予定である。				
		地方債		0千円		0千円		0千円					
		その他特定財源		0千円		0千円		0千円					
		一般財源		0千円		205千円		402千円					
	計(A)		0千円		205千円		402千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.266人	1,977千円	0.266人	2,009千円	0.283人	2,133千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.008人	14千円					
	全体事業費(A+B)			1,977千円		2,214千円		2,549千円					
一次評価者	産業創出係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	企業立地促進条例にのっとり適切に事業推進します。市の自主財源の確保や市民の雇用を創出するためには必要な事業です。												
有効性	総合計画にも明記されている事業でもあり、雇用と産業の創出、税収の向上などの観点から、有効性は高いと考えます。												
達成度	工業用地として分譲可能な土地がほとんどないため、誘致目標の設定は困難です。H22年度は、東温エコの森工業団地が14区画のため、3件程度を目標設定しています。												
効率性	誘致には数多くの企業との接触が必要であり、スタッフの人員増や、効果的な広報PRのためのホームページの活用や、市広報誌の活用を検討する余地があります。												
当面の課題	東温エコの森工業団地(4.8ha)の早期完売を目指す必要があります。												
改訂計画	愛媛県地域産業活性化協議会事業による、首都圏での企業誘致フェア参加、企業アンケート事業や新聞広告事業に取組みます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	企業誘致事業は、長期の景気低迷のため、企業体力が弱く、新たな企業立地は厳しい環境にあるため、立地促進にかかる優遇措置制度の適用実績や他自治体の取組み状況に照らしながら適宜、制度の見直し検討してください。また、民間開発の工業団地分譲が進展していないことから、当面はあらゆる情報媒体を活用して側面的な支援を継続するとともに、企業進出計画情報、土地異動情報の収集整理をしてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1020	事務事業名	産業振興会議開催事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	4 工業の振興		主要施策	(1)産業振興体制の確立				
	事業の対象	市内製造業、商業・サービス業を営業者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市の産業振興策の提言を受けて、可能な限りこれらを実現するための検討を行います。			今年度	産業振興策の提言を受けて、対応の可否を検討し、可能なものから実施できるよう調整を行います。						
	活動内容	年度内2回の会議を開催します。(製造業関係者対象1回、商業・サービス業関係者対象1回)				出席した企業者間の異業種交流を促進し、発展的な企業活動を支援します。							
		産業振興策等に関する提言を取りまとめ、関係各課において対応の可否等を検討します。											
		市のホームページにおいて会議で出された提言並びにそれらに対する市の対応方針等を情報公開します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		会議開催回数		ジャンルを「工業・製造業」と「商業・サービス業等」の2区分しています。		回	目標	2	2	2			
実績							2	2					
会議における提言数		年度出席者数20名×平均2件の提言		件	目標	-	50	40					
					実績	53	35						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		85千円	81千円	101千円							
	計(A)		85千円	81千円	101千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.210 人	1,561千円	0.210 人	1,586千円	0.128 人	965千円				
		臨時職員工数・経費		0.000 人	0千円	0.000 人	0千円	0.052 人	89千円				
	全体事業費(A+B)		1,646千円		1,667千円		1,154千円						
一次評価者	産業創出係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	平成17年度からの継続事業であり、対象事業者も概ね一巡していることから招聘方法を検討する必要があると思われませんが、出席した事業者においては異業種交流の絶好の機会と喜んでいただいています。												
有効性	企業者からの産業振興施策の提言は実践的かつ効果的なものが多く市の施策に有効に生かせると考えています。												
達成度	産業振興施策の提言内容も充実しており、これに基づく市の政策立案にも多いに役立っています。												
効率性	小さな自治体でのメンバー入れ替えでの会議であるため、参加者の選考に苦慮しておりますが、他の自治体の事例なども調査・研究することで解決したいと考えています。												
当面の課題	対象事業者も一巡したことから、さらに会議の活性化を図るためには、対象事業者のメンバー選定をどうするかが今後の検討課題です。												
改革計画	平成21年度においては、対象事業者を東温市在住あるいは東温市出身者で、市外で事業を行なっている事業者も招聘したことから、平成22年度においても同様に実施します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	より幅広い視点から市内産業の振興を推進していくため、会議を通じた情報交換や提言を求めることは重要であり、継続して実施していくようにしてください。今後は、農工商等連携による新たな産業振興も期待されるため、対象事業者や会議のあり方等について、さらに検討工夫を検討してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1027	事務事業名	愛媛大学連携推進協議会運営事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	19年度～年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	4 工業の振興		主要施策	(5)産業支援・研究開発体制の整備				
	事業の対象	国立大学法人愛媛大学				根拠法令							
	事業の目的	最終的	愛媛大学と連携し、地域の課題に迅速かつ適切に対応することにより、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的とします。			今年度	市、大学双方から提案された連携テーマを相互に協力しながら着実に進めていきます。						
	活動内容	国立大学法人愛媛大学 社会連携推進機構との連携協定に基づく連携事業の検討											
		愛媛大学・東温市連携推進協議会(年1回)の開催事務											
		連携協定に基づく事務事業の進捗状況の管理											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標		
		連携協定に基づく実施事業数		計算不能(各課からの要請件数により変動)			件	目標	-	10	10		
実績								7	10				
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費			平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円	各連携事業にかかる事業経費については、各担当課において対応することとなっているため、直接事業費は0となっています。						
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		0千円	0千円	0千円							
	計(A)		0千円	0千円	0千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.062人 461千円	0.062人 468千円	0.072人 543千円							
		臨時職員工数・経費		0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.016人 27千円							
	全体事業費(A+B)		461千円		468千円	570千円							
一次評価者	産業創出係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	地元の医学部は従来から市民の健康づくりや救急医療体制の整備などで相互に連携しており、今後は他の分野での連携も地域活性化のために推進していきます。												
有効性	官学連携による自治体の課題解決には非常に有効であると考えています。大学側としても独立行政法人化に伴う地域貢献事業の強化としての取組が多いに期待されることです。												
達成度	平成21年度においては10件の連携事業が実施され、相応の成果を残しており、今後より一層充実した連携が期待できると考えております。												
効率性	当課は、愛大との連携の窓口ですが、今後の発展的課題としては、当課から連携モデルの提案を積極的に行うことで、より一層連携が強化されると期待されます。												
当面の課題	連携により実施される事業は、各所管課における事業成果として評価が行われるべきものですので、愛媛大学との連携促進協議会の運営そのものの評価については、やや難があるように思われます。当課としても、連携モデルの提案といった先行型の取組が必要と考えています。												
改訂計画	愛媛大学社会連携推進機構と日常的に情報交換・共有を行い、連携のシーズをいち早く発見し、市に活用できるよう努めてまいります。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	連携協定は概ね有効に機能しているため、基本的には現状維持で連携が必要であるが、個別連携においては、連携レベルの格差も見受けられるため、連携の進め方、内容等について、他自治体の取組みを参考にするなど見直し検討をしてください。また、より幅広い視点での専門的ノウハウを活用する観点から、今後も他大学等との連携の可能性について検討をしてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1033	事務事業名	とうおんブランド販路開拓支援事業	細事務事業名		公的関与	9						
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	20年度～22年度 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(5)「東温ブランド」の開発・販売				
	事業の対象	一般消費者、市内の農業者、農業団体、商工業者、商工団体等			根拠法令								
	事業の目的	最終的	東温市内の農産物等を活用した特長のある「とうおんブランド」を創出し、圏域外での販路の開拓を目指します。		今年度	2件程度の案件を支援し、とうおんブランドにつながる産品づくりや販路開拓を支援します。							
	活動内容	とうおんブランド販路開拓等支援事業費補助金による限度額50万円で2件程度の採択を目指します。											
		補助金の積極的な活用を目的として、広く市民に対し周知します。											
		採択となった事業から創出された産品については、市においても積極的にPRの機会を設けます。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		とうおんブランド販路開拓等支援事業活用件数		50万円×2件の予算措置		件	目標 2	2	2				
					実績 1	1							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	359千円	334千円	1,000千円								
	計(A)	359千円	334千円	1,000千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.145人	1,078千円	0.245人	1,851千円	0.084人	633千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.200人	342千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,437千円		2,527千円		1,633千円						
一次評価者	産業創出係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	統合/終期設定
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	サンセット方式の補助金であるため、平成22年度までの事業です。												
有効性	過去の活用事業者においては、本事業を活用したことで、販路の開拓が具体化していることを考えれば相応の有効性はあったものと考えられます。												
達成度	2件程度の助成を想定しているものの、1件の応募しかない点では、積極的に取り組む事業者の不足を懸念しています。												
効率性	事業規模・補助率ともに概ね適当であると考えます。												
当面の課題	補助事業に応募する事業者が少ないため、競争原理が働きにくく、結果的に初期の目的を達成することは困難です。												
改訂計画	本補助事業は、平成22年度で完了するサンセット方式のため、次年度に向けてより効果的な助成制度を検討していきます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	統合/終期設定
二次評価での指摘事項	助成制度がより積極的、効果的に利用できる新たな支援制度を検討するとともに、事業参画者への周知、啓発、PR等にも工夫改善が必要です。 また、現在、推進している農商工等連携を活用した販路開拓にも期待されるため、今後さらなる強化推進をしてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1036	事務事業名	農商工等連携促進事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	21年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(5)「東温ブランド」の開発・販売				
	事業の対象	一般消費者、市内の農業者、農業団体、商工業者、商工団体等			根拠法令	農商工等連携促進法							
	事業の目的	最終的	一般消費者に対しては、とうおんブランドの認知度向上、購買行動を促進します。農業者・商工業者等に対しては、連携のもとで、新商品の開発や、新規販路開拓等が進むことで、とうおんブランドが創出されることを目的とします。			今年度	とうおんブランド産品候補の洗い出しを行うとともに、農商工連携促進協議会を設置し、新たな連携でとうおんブランドの創出を目指します。また、一般消費者に向けて、とうおんブランドのPRや試験販売などを行います。						
	活動内容	農商工連携促進協議会の運営を通じて、農業者・商工業者・関係機関等の連携を強化し、とうおんブランド創出を目指します。											
		ワーキングチーム、支援チームの下部機関による東温型農商工等連携プランの策定、実施により成功事例を創出します。											
		農商工等連携により生み出されたとうおんブランド候補産品のPR、販路開拓を後方支援します。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		農商工連携推進協議会開催回数		21年度開始。3回の開催を予定している。		回	目標	3	3				
					実績	3							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工			費				
	直接事業費		平成	20年度決算	平成	21年度決算	平成	22年度予算	備考				
		国・県支出金		0千円		0千円		1,041千円	直接事業費 会議開催費267千円に加え、ふるさと雇用再生事業を活用し東温市商工会へ1,041千円を委託料として支出予定。				
		地方債		0千円		0千円		0千円					
		その他特定財源		0千円		0千円		0千円					
		一般財源		0千円		241千円		267千円					
	計(A)		0千円		241千円		1,308千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.245人	1,851千円	0.284人	2,141千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.200人	342千円	0.070人	119千円					
	全体事業費(A+B)			0千円		2,434千円		3,568千円					
一次評価者	産業創出係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	農業者、商工業者の連携による新商品や新サービスの開発は、とうおんブランドの創出にとって非常に有用かつ効果的です。												
有効性	農商工の現状把握と、関係者を統合した組織、またこれらの下部組織の連携により、とうおんブランドの創出はより一層加速されるものと考えます。												
達成度	とうおんブランドの開発も過去概ね順調であり、農商工連携により一層の達成度向上が期待されます。また、PR・試験販売イベントについても出来る限りの対応を行っており満足できるものです。												
効率性	協議会、ワーキングチーム、支援チームの分業体制を構築することで、効果的かつ経費節減により事業を実施できています。												
当面の課題	東温型農商工等連携プランの実現に全力を注力すべきと考えます。												
改革計画	市内の農業者、商工業者の訪問をきめ細かく行うとともに、農商工連携促進協議会の開催を早急に行います。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	農商工等連携の実践モデルの着実な展開を支援し、その成果が新たな連携事業者の創出に繋げるよう積極的な推進を図ってください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

012	1041	事務事業名	「とうおんブランド」どぶろく特区支援		細事務事業名		公的関与	8					
PLAN	課名	産業創出課	係名	産業創出係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間 19年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策 (5)「東温ブランド」の開発・販売					
	事業の対象	どぶろく醸造免許の取得を希望する農業者およびどぶろく醸造者			根拠法令	構造改革特別区域法							
	事業の目的	最終的	構造改革特区としてのどぶろく特区を市域全体で認定を受け、特に中山間地域の農業活性化の手段としてどぶろく醸造を活用した農業振興、グリーンツーリズムの推進により、産業振興に寄与することを目的としています。			今年度	既に醸造免許を取得し誕生した3歳の安定的な販路の開拓を支援するとともに、他の中山間地域において醸造免許の取得を希望する農業者を支援します。						
	活動内容	どぶろく醸造免許の取得希望者に対する、事務手続き等の指導を行います。			既に醸造を行っている3歳が組織するとうおん濁酒組合の活動について助言等を行います。								
		醸造免許に必須の、醸造技術研修の受講について、愛媛県産業技術研究所と連携し、これをサポートします。											
		醸造設備の整備、醸造許可(保健所)の取得に関する情報提供並びに手続き支援を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		どぶろく醸造免許取得者の数		特区申請書記載		名	目標 3	3	1	7			
					実績 3	3							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
	計(A)	0千円	0千円	0千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.131 人	974千円	0.131 人	990千円	0.075 人	565千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0千円	0.100 人	171千円	0.042 人	71千円					
	全体事業費(A+B)		974千円		1,161千円		637千円						
一次評価者	産業創出係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	構造改革特別区域法に基づいて実施していますが、実際の販路拡大や商品PRについては、事業者自らの対応が原則であり、過剰な支援は適当ではありません。												
有効性	とうおんブランドの基幹商品として他の産品を牽引する役割があり、これを支援することは東温市の農産物や加工品等の販路拡大に寄与すると思われま。												
達成度	個別の3歳元の販路拡大への支援は一定の成果が現れているものの、中山間地の各地域でどぶろく醸造者を育成するという目標については成果が上がっておりません。												
効率性	東温市内で開催されるイベントへの出店や、市営温泉での販売はもとより、取り扱い店舗への紹介など経費をかけない支援策を講じています。												
当面の課題	とうおんブランドどぶろく特区の推進母体であるとうおん濁酒組合の自主活動についても市として必要な助言等を行いつつ、同組合による積極的な新規起業者の掘り起こしを期待しております。また、平成23年度に当市で開催予定の全国どぶろく研究大会に向けて、とうおん濁酒の更なる振興策が必要です。												
改革計画	東温型農工商等連携促進事業を活用して、販路開拓ならびに加工品開発を支援することにより、とうおんブランドどぶろく特区の更なる振興を図ります。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	地場産品を活かしたとうおんブランド化への先駆的取り組みであり、どぶろく特区認定事業者への支援は地域ブランドづくりの誘因となり一定の成果を得ている。今後も事業者組合による組織の充実強化と新規起業者の創出を期待するとともに、販路拡大や安定経営等に向けた間接的支援が望まれます。また、どぶろく特区の目標である農林業体験型グリーンツーリズムの取り組みを通じた活力ある農山村地域の創出のため、誘客交流の展開も積極的に進める必要があります。												